



# 難病ネットワークニュース

Vol. 3 3

令和 6 年 7 月



## ごあいさつ

平素は、岐阜県難病医療ネットワーク事業にご理解、ご協力賜り厚くお礼申し上げます。昨年度から仕事と治療の両立支援をテーマに取り組んでいます。引き続き話題の長短時間雇用や県内関係機関の取り組み事例の情報をお届けしますので是非ご参加ください。今後ともネットワーク事業へのご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。  
(拠点病院事務局一同)

## トピックス

令和 6 年度難病ケアコーディネーター等研修会（シンポジウム）のご案内

今年は、県内で連携ができる関係機関の方に、シンポジウムでパネリストとして登壇いただき、医療分野との連携方法の課題等について議論いただきます。また、議論結果等をまとめて「支援者のための両立支援サポートガイド」を作成していきます。

発行者：岐阜県難病医療連絡協議会事務局  
〒501-1194 岐阜市柳戸1番1  
岐阜大学医学部附属病院  
総合患者サポートセンター内  
TEL：058(230)7100  
<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/official/nanbyo.html>

2024年度 難病ケアコーディネーター等研修事業

公開シンポジウム  
オンデマンド配信あり

# 難病患者の就労支援について

～関係機関の取り組みと連携～



## こんな方に

- ・難病医療ネットワーク病院の難病ケアコーディネーターの方
- ・難病の療養支援に関わる方
- ・就労支援に関わる方
- ・行政（保健福祉、労働）の方
- ・障害者雇用にご理解ある医療関係、保健福祉等の事業者の方など

【日時】10/30(水)  
13:30～16:00  
(受付13時)

【会場】岐阜大学医学部  
附属病院 1階  
多目的ホール

## ■プログラム

### ● 講演



岐阜市における「超短時間雇用」の取り組み  
～具体的な雇用事例を交えて～

講師

岐阜市超短時間ワーク応援センター  
センター長 大原 真須美 氏

### ● パネルディスカッション

働きたいと希望を持つ難病患者が、働くことをあきらめない就労支援ネットワークづくり



コーディネーター：愛知教育大学健康支援センター(教授・産業医)  
田中 優司 先生

- パネリスト：
- ① 難病ケアコーディネーターの取り組み  
真田 智衣氏 (岐阜県総合医療センター 難病ケアコーディネーター)
  - ② ハローワークの難病患者就職サポーターの取り組み  
岩田 昌子氏 (岐阜ハローワーク 難病患者就職サポーター)
  - ③ 岐阜障害者職業センターの取り組み  
茂木 修氏 (岐阜障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー)
  - ④ 地域の両立支援相談窓口としての薬局の役割  
長瀬 琢磨氏 (ユニバーサルコーポレーション両立支援コーディネーター)
  - ⑤ 社会保険労務士の取り組み 障害年金をもらいながら安心して働く  
森 千晴氏 (ぶどうの樹 両立支援コーディネーター)



## 定員

60名

(対面式は申し込み先着順)  
定員(60名に達しましたら締め切り(10月18日)前でも受付を終了させていただきます。オンデマンド視聴を希望される方も、申込みをお願いします。

## 受講料

無料

## 申し込み

以下の事前申し込みサイトから、フォームに必要事項をご記入の上、お申込みください。

<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/official/nanbyo.html>




ご記入いただいた個人情報は、参加者属性調査と本シンポジウムの連絡用以外は使用しません。

## 事後オンデマンド配信の視聴

事前申し込みをされた方に、オンデマンド配信開始のメールとログインするIDとパスワードをお知らせします。また、視聴後はアンケートへのご協力もよろしくお願い致します。

主催・問い合わせ先 岐阜大学医学部附属病院 総合患者サポートセンター内 難病医療連絡協議会事務局  
TEL058-230-600PHS7174 e-mail: tanaka.reiko.c3@mail.f.thers.ac.jp

## 難病医療ネットワーク協力病院の「就労相談（2022年度状況調査）」の結果（概要）

 就労相談調査への協力をお願い

### 難病基幹協力病院（5病院）、一般協力病院（40病院）での「就労相談」の状況調査について

8月25日に、各病院の難病ケアコーディネーターの方宛てに、郵送とメールでご依頼させていただきました。本調査は、昨年に引き続き2年目調査として、就労相談の状況を明らかにして、今後の事業や両立支援サポートガイドの作成等に活用し、これから支援を行う人の参考になる情報提供を目的としています。

調査の回答期限が 9月30日（月）となっております。ぜひご理解、ご協力いただきますようお願いいたします。

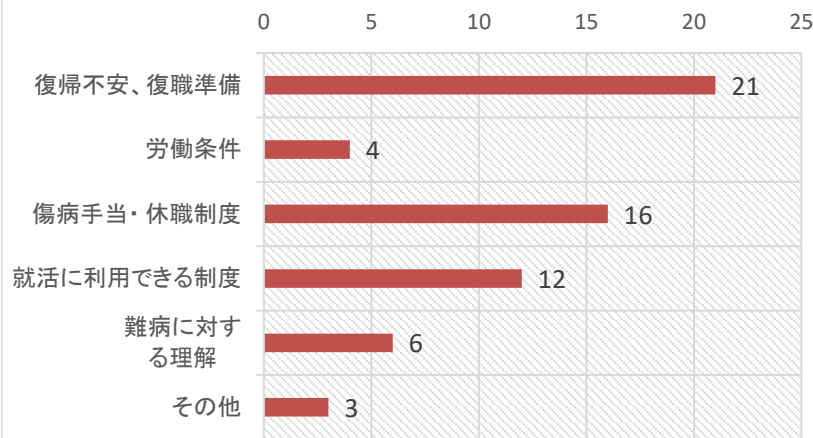
（拠点病院担当者）



### 2022年度相談内容（延べ数）

相談内容で一番多いのが「復職不安・復職準備」の21件、次に「傷病手当・休職制度」、「就活に利用できる制度」などさまざまな不安を抱えている。自由記載の中に、「**相談対象者がいないのではなく、患者が病院の相談窓口で就労支援の相談ができることを知らなかったり、就労をあきらめているのではないかと思います。患者家族へもっと周知していく必要性を感じた。**」とのご意見があった。

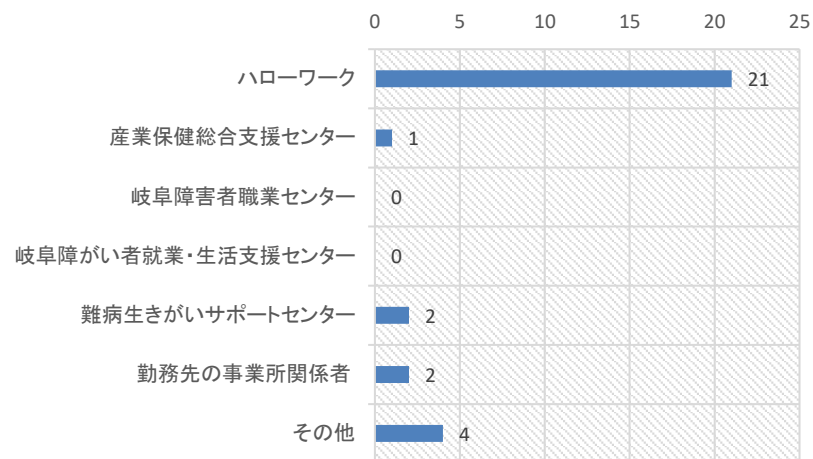
岐阜県全体 2022年度就労相談の相談内容(延べ)




### 相談時の連携先

就労相談時に約8割が他機関と連携していた。連携先機関では「ハローワーク」が21件と一番多かったが、他に難病生きがいサポートセンター、勤務先事業所、社会福祉協議会、社会保険労務士など医療、保健、福祉、労働の多くの機関と連携をしていた。自由記載の中に、「**連携先のそれぞれの機関が、患者さんのためにどのような情報を持っていて、どのように対応してくれるのかが分かりやすい情報ツールあるといい**」とのご意見があった。

就労相談時の連携先



 難病診療連携コーディネーターから情報提供

### 第12回日本難病医療ネットワーク学会学術集会



会期  
2024年  
10/25（金）  
26（土）  
会場  
弘前文化センター  
（青森県）

仮称「支援者のための両立支援サポートガイド」を作成します！！

今年度、サポートガイドを作成するためのワーキンググループを立ち上げ、アドバイザーの先生にご指導いただきながら、来年度の完成を目指します。

